

地域ケア会議

鹿児島市地域包括支援センター 谷山南

【計画】

作成担当者： 迫田 真一

開催日時	平成30年12月13日 15:00 ~ 17:00	開催場所	谷山市民会館 2階 会議室
参加者	居宅介護支援事業所：11人、生前遺品整理事業所：1人、地域包括支援センター職員：6人		
	総数 18人		
内容	テーマ	勉強会/事例検討会	
	目的	個別課題の解決、地域包括支援ネットワークの構築	
	概要	<p>(検討テーマ)</p> <p>○前回の事例検討会にて決定したA・B・Cグループより第3回事例検討会はBグループを中心に開催。</p> <p>○生前遺品整理事業所の方に谷山南圏域にある遺品整理によって回収した物品を管理している倉庫の説明。</p> <p>(検討項目)</p> <p>○事例検討会：Bグループによる事例検討会。</p> <p>○生前遺品整理事業所の方に谷山南圏域にある遺品整理によって回収した物品を管理している家具や家電等の情報提供、生活困窮者や高齢者等に対しての物品提供の方法、取り扱いなどを説明して頂き、在宅支援におけるスキルアップを図る。</p>	

【結果】

開催日時	平成30年12月13日 15:00 ~ 17:00	開催場所	谷山市民会館 2階 会議室
参加者	居宅介護支援事業所：11人、生前遺品整理事業所：1人、地域包括支援センター職員：6人		
	総数 18人		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を通して、金銭管理について、今だけを見るのではなく、予後を予測した対応をケアマネ1人が考えるのではなく、関係機関と現状の課題をしっかりと共有し、支援の方向性、今後の本人の支え方、金銭管理について明確にしていくことが大切で、ケアマネの負担軽減を図っていくことが必要とわかった。 ・生前・遺品整理について改めて説明して頂き、物品管理、斡旋方法などを資料を活用して説明。実際に谷山南や他包括との連携を口頭で事例を交えて説明をしてもらったことで、生活困窮者等が施設を検討せず、環境を整えて「自宅で生活をす <p>る」という選択が出来ることを学ぶことができた。加えて、利用者にとって環境整備をすることも大事だが、整備した後をしっかりと維持していくための利用者への意識改革、支援者の声かけと自立に向けた対応を心掛けていくことが大切だと学ぶことができた。</p>		
今後の課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の事例検討会開催の在り方を第4回事例検討会にて、谷山南圏域の居宅支援事業所と検討していく必要がある。 		